

1 5. 林業普及指導

1 5 - 1 林業普及指導事業の概要

本事業は、林業普及指導員を配置して、試験研究機関による研究成果の現地実証等を行い、森林所有者等に対して、林業に関する知識・技術の普及と森林施業にかかる指導を行う事業であり、林業技術の改善、林業経営の合理化、森林の整備等を促進し、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に資するものである。

林業普及指導員は、国が行う資格試験に合格した県職員の中から任命されるものであり、林業普及指導事業の基本的役割を踏まえ、下記事項を重点課題として取り組んでいる。

- ① 森林の有する多面的機能の発揮に資する高度な技術を、採算性を確保しつつ定着させること
- ② 効率的かつ安定的な林業経営を担う人材の育成、確保を図ること
- ③ 地域全体で木材利用の推進を図り、林業生産活動を活性化させ、森林整備を促進させること
- ④ 特用林産物の生産増大を図り、林業従事者の所得の向上、雇用の確保を促進させること

1 5 - 2 林業普及指導事業の内容

(1) 巡回指導、地域運営

沖縄県林業普及指導実施方針に基づき、林業普及指導員が計画的に管内を巡回し、地域の特性に応じた適切かつ効果的な普及指導活動を行う。

また、林業普及指導の活動の円滑化を図るため、必要な資機材の整備を行う。

(2) 普及指導員の研修

林業普及指導員の資質の向上を図るため、国等が行う研修等に積極的に派遣させる他、県独自に研修を実施する。

ア. 中央研修：林野庁が実施する研修

イ. 総合研修：県が実施する林業普及指導活動に必要な技術知識等の全般的な研修

ウ. 特技研修：専門項目毎に重点事項について実施する研修

エ. 地区研修：地域毎に具体的課題に対し、解決方策等の検討を実施する研修

(3) 林業技術現地適応化事業

林業技術の改善とその普及を促進するため、森林・林業に関する試験研究成果を現地で実証し、技術の適応化を図る事業である。

これまで、次の課題について現地適応化事業を実施した。

年 度	課 題	場 所
平成19	環境保全型低コスト集材システムの検討	国頭村
20～22	菌床シイタケ栽培技術	名護市、東村、大宜味村、八重瀬町
23	マツ青変菌等の被害防止技術	石垣市
24	シイタケ廃菌床を利用した菌床シイタケ栽培技術	名護市
25～26	Mスターコンテナ苗の栽培技術	名護市、読谷村
27	山菜（ホウビカンジュ）の林間栽培試験	国頭村
28～29	早生樹種の育成技術	国頭村
30	山菜（ホウビカンジュ）の施肥試験	名護市

(4) 林業普及情報活動システム化事業

林業普及指導員が計画的に情報活動を実施するため、情報システム整備及び特定情報調査を行う事業である。

ア 情報システム整備

各地域における林業経営及び技術の動向並びに林業試験研究機関等における試験研究の成果等に関する情報を収集整理すること。

イ 特定情報調査

林業の機械化、森林被害の予防、防除等のうち早急に普及指導の対象者に普及する必要のある特定の項目について、情報を収集し調査を実施すること。

近年、実施した項目は次のとおりである。

年 度	課 題	場 所
平成19～20	デイゴヒメコバチ発生消長調査	沖縄全域
21	フクギの黄化衰退被害の実態調査	沖縄全域
22	リュウキュウマツ枯損被害の実態調査	宮古島市
23	タイワンハムシによるハンノキ被害調査	沖縄本島全域
24	ナガマドキノコバエ誘引捕獲調査	沖縄本島、宮古島市
25	デイゴヒメコバチ発生消長調査	沖縄全域
26	野生きのこ発生調査	沖縄全域
27	菌床しいたけ栽培マニュアルの作成	沖縄全域
28	クヌギの資源量調査	沖縄本島北部
29	造林分野における既存の調査研究まとめ	沖縄全域
30	造林指針の改定	沖縄全域

15-3 林業後継者育成対策等事業の概要

(1) 林業普及指導協力員の活用

普及対象者の拡大及び技術内容の高度化に対応するために森林・林業に関する専門的な技術や知識を備えた人材を普及指導協力員に認定し、その活用を行うことによって、効率的な普及指導活動を展開している。

なお、配置している普及指導協力員は次のとおりである。

平成31年4月1日現在

No.	氏名	所在	分類	専門分野
1	上野 和昌	名護市	森林インストラクター	森林教育
2	山城 勝則	大宜味村	その他	特用林産
3	平田 嗣雄	東村	指導林家	特用林産
4	山城 健	国頭村	その他	林産
5	亀島 克夫	沖縄市	樹木医	森林保護
6	本部 強	八重瀬町	その他	特用林産
7	仲地 本吉	名護市	その他	特用林産
8	新城 元吉	宮古島市	指導林家	特用林産
9	佐和田 勝彦	宮古島市	青年林業士	造林・森林保護
10	上原 学	名護市	青年林業士	特用林産
11	我如古 光男	与那原町	その他	特用林産
12	宮城 健	西原町	その他	特用林産・緑化
13	徳山 孝亀	石垣市	青年林業士	造林・森林保護
14	大宜見 浩	宜野湾市	その他	森林保護
15	渡口 直樹	国頭村	その他	森林教育
16	比嘉 進	国頭村	その他	林産
17	山川 安雄	国頭村	その他	森林利用

(2) 林業後継者育成

① 就業の促進

林業への就業等の促進に資するため、新規学卒者等の就業希望者の意向調査、林業事業者の受入実態等に関する調査、林業・林産業の現地見学並びに林研グループ等の交流研修を実施している。

② 林業教室等の開催

林業従事者等への高度な技術、知識を習得させるため、また将来において林業の担い手となる可能性のある者を対象に、森林・林業の基礎的な知識、技術を習得させることを目的として、林業教室等を開催している。

林業教室等実績

年度	受講者数（人）	備考
平成元年～5	197	
6～10	118	
11～15	115	
16～20	110	
21	137	
22	130	
23	216	
24	248	
25	176	
26	153	
27	289	
28	301	
29	445	
30	453	
計	3,088	

(3) 森林・林業普及啓発推進

一般県民や児童生徒等の森林・林業への理解の促進を図るため、林業普及指導員がイベントや学校等で、森林の役割や林業の意義等について講話を行う他、森林散策や木工クラフト等の体験学習会を実施している。

平成30年度、実施した活動内容は次のとおりである

項目	内容	開催場所	参加者	回数	人数
木育学習会	森林環境教育 木育、木工クラフト	県内全域	県民、 児童生徒他	17	1,797
緑の少年団 体験学習会	森林散策、 木工クラフト			1	33
				18	1,830

15-4 林業研究グループの活動

林業従事者の自主的な実践活動を促進するとともに、林業技術・知識の向上を図るため、林業後継者を中心に林業研究グループを結成し、学習及び地域活動等を展開する。また、下表の林業研究グループは、沖縄県林業研究グループ連絡協議会を結成し、相互の連絡調整を行っている。

平成31年4月1日現在

No	林業研究グループ名	所在地	代表者	男性	女性	合計
1	沖縄県林業研究グループ連絡協議会	那覇市泉崎1-2-2 (沖縄県森林管理課内)	佐和田 勝彦	(県内合計) 78	(県内合計) 26	(県内合計) 104
2	国頭村林業研究会	国頭村与那	賀数 安志	18	3	21
3	沖縄北部森林組合林業研究グループ	名護市宇茂佐	松田 啓三	15	2	17
4	やんばる菌床しいたけ研究会	名護市宇旭川	上原 学	2	0	2
5	県森連林業研究会	南風原町字大名	北川 泰久	10	0	10
6	具志頭村竹炭林業研究会	八重瀬町字仲座	新地 修	2	2	4
7	渡嘉敷林業研究グループ	渡嘉敷村阿波連	金城 淳夫	1	2	3
8	南ヒラタケ林業研究グループ	八重瀬町字具志頭	本部 強	3	2	5
9	沖縄市林業研究グループ	沖縄市池原	内間 宏政	4	1	5
10	栗国村ソテツ味噌林業研究グループ	栗国村字東	安谷屋 英子	0	13	13
11	宮古森林組合林業研究グループ	宮古島市平良字東仲宗根	佐和田 勝彦	14	1	15
12	八重山森林組合林業研究グループ	石垣市字石垣	石垣 宗正	9	0	9

15-5 林業普及指導員の配置

(1) 一号林業普及指導員の配置

試験研究機関、市町村、林業団体及び教育機関等と密接な連携を保ち、林業に関する専門の事項又は普及指導活動の技術及び方法について調査研究を行うとともに、広域的な普及指導を行う職員の配置は以下のとおりである。

配置先	専門事項	配置人数
農林水産部森林管理課	林業経営	1人 (林業経営、特用林産、林業機械)
〃	林産	1人 (林産、林業経営、機能保全)
〃	特用林産	1人 (特用林産、造林、森林保護)
		3人

(2) 二号林業普及指導員の配置

森林所有者、その他林業を行う者又は林業に従事する者に直接接して、林業に関する知識・技術の普及と森林施業にかかる指導を行う職員の配置は以下のとおりである。

普及区	計	主として専門的に行う分野						
		林業経営	造林	森林保護	森林機能	林産	特用林産	林業機械
沖縄北部	3人		1	1			1	
沖縄中南部	2人			1			1	
宮古・八重山	3人		2			1		
計	8人		3	2		1	2	

※「一号」、「二号」は、沖縄県職員の給与に関する条例第31条第1項に示す職務規定の該当号に由来する。

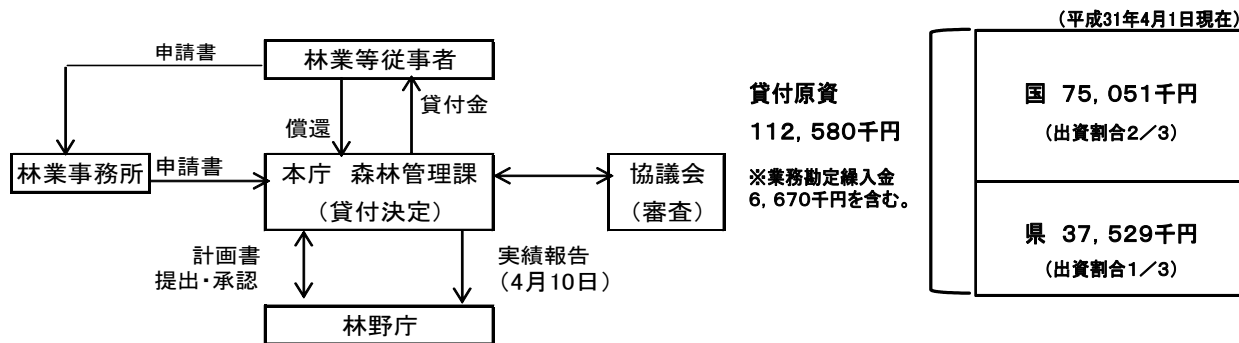
16. 林業金融

16-1 林業・木材産業改善資金貸付事業

(1) 目的

林業及び木材産業の健全な発展を一体的に推進することを目的として、林業者・木材産業従事者が経営の改善等に必要な設備を導入する先駆的な取組に対して、県が中・短期の資金の貸し付けを無利子で行う事業である。

沖縄県は昭和59年度から林業・木材産業改善資金貸付事業を始め、その原資は、国が3分の2を補助し、残り3分の1を県が負担して造成している。



※()で記載された時期は目安となります。

2 貸付の限度額等

・貸付限度額

借受者	限度額
個人	1,500万円
会社	3,000万円
団体	5,000万円

・償還期間

貸付金額	償還期間
500万円未満	5年以内
500万円以上	10年以内

・連帯保証人及び担保

貸付金額	連帯保証人	担保
50万円未満	1名以上 ただし、担保を提供した場合は不要とする。	連帯保証人に代えることができる。
50万円以上 500万円未満	2名以上 ただし、担保を提供した場合は不要とする。	連帯保証人に代えることができる。
500万円以上 1,000万円未満	2名以上	提供
1,000万円以上	3名以上	提供

3 貸付実績推移

年 度	件数	金 額
昭和59年度～平成22年度	115	439,604
平成24年度	2	8,627
平成25～30年度	0	0
計	117	448,231

16-2 沖縄振興開発金融公庫資金

沖縄振興開発金融公庫は、政策金融（本土における株式会社日本政策金融公庫、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政福祉法人福祉医療機構）を一元的、総合的に行い、沖縄における産業の開発を促進するため、長期資金を供給する機関である。

林業関係の資金としては、木材の加工・流通に必要な施設を整備する沖縄農林漁業経営改善資金、造林事業や林道建設等に活用する林業基盤整備資金、きのこなど特用林産物等の生産施設を整備する農林漁業施設資金等がある。

利用実績（林業部門）

（単位：百万円）

資金名	合計		沖縄農林漁業 経営改善		林業基盤整備		農林漁業施設				農林漁業セーフ ティネット資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	共同利用施設		主務大臣指定施設		件数	金額
昭和49	1	17			1	17						
50	9	346			8	336			1	10		
51	6	341	1	6	4	323	1	12				
52	4	69	1	47	3	22						
53	1	12							1	12		
54	9	423	2	57	6	365			1	1		
55	13	186	2	69	10	116			1	1		
56	11	198	6	67	5	131						
57	3	112	1	83	2	29						
58	8	98	1	17	7	81						
59	5	33			5	33						
60	8	70			8	70						
61	12	110			12	110						
62	5	63			5	63						
63	12	83			11	81			1	2		
平成元	11	133			7	87	3	42	1	4		
2	7	126			4	111	2	13	1	2		
3	8	63			5	33	2	28	1	2		
4	10	181			10	181						
5	4	10			4	10						
6	9	218			8	206			1	12		
7	7	123			7	123						
8	7	124			7	124						
9	9	148			8	125			1	23		
10	10	188			8	164			2	24		
11	8	142			8	142						
12	8	117			8	117						
13	7	82			7	82						
14	7	105			6	97			1	8		
15	11	187			9	144			2	43		
16	8	132			7	122	1	10				
17	7	166			5	117	2	49				
18	8	166			7	109			1	57		
19	8	95	1	19	6	73					1	3
20	3	23			3	23						
21	6	80	1	34	5	46						
22	4	36			4	36						
23	4	32			4	32						
24	4	30			4	30						
25	2	36			2	36						
26	2	15			2	15						
27	2	15			2	15						
28	1	9			1	9						
29	1	10			1	10						
30	1	10			1	10						
計	291	4,963	16	399	247	4,206	11	154	16	201	1	3

16-3 農林漁業信用基金（林業・木材産業信用保証業務）

(1) 目的

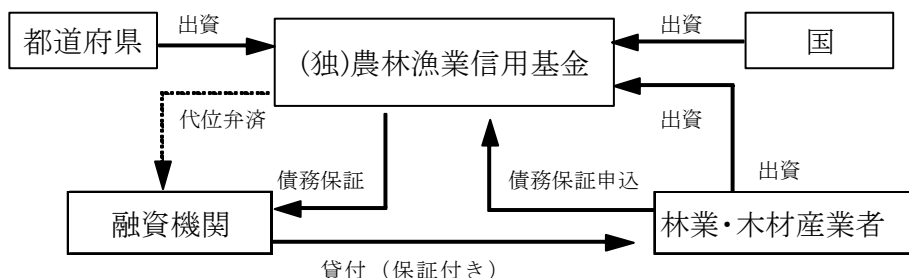
林業信用保証は、林業・木材産業者が経営の改善に必要な資金を金融機関から借入れる場合、その借入れに係る債務を低率で保証し、資金の融資を円滑にすることを目的としている。

（独）農林漁業信用基金の事務所は、東京都に置かれ、全国の事務を一か所で集中して処理しているため、各都道府県に相談員を置き、基金利用者の便宜を図っている。

(2) 制度の仕組み

この保証業務の運営に要する資本金は「国」、「都道府県」及び利用者たる「林業者等」の三者の出資でもって構成されている。

事業者が、農林漁業信用基金から保証を受けて融資機関から借入れをしようとする場合は、あらかじめ同基金に対して出資を行う必要がある。融資の際の保証限度額は、出資額の39倍以内である。



(3) 出資・保証実績（平成31年3月31日現在）

・全国の出資状況（単位：千円）

区分	出資額	構成比
国	15,308,766	69.0%
都道府県	3,775,558	17.0%
林業者等	3,089,629	13.9%
合計	22,173,953	100.0%

・沖縄県の出資状況（単位：千円）

区分	出資額	構成比
沖縄県	3,969	36.9%
林業者等	6,780	63.1%
合計	10,749	100.0%
沖縄県の保証倍率		39.0%

・保証実績（単位：千円）

年度	金額	年度	金額
昭和47～ 平成元年	138,400	20	30,000
2	16,000	21	110,000
3	20,000	22	90,000
4	16,000	23	179,000
5～13	-	24	55,000
14	20,000	25	55,000
15	50,000	26	25,000
16	50,000	27	0
17	70,000	28	24,000
18	50,000	29～30	0
19	60,000	計	1,058,400

1 7 沖縄県県民の森

(1) 設置

沖縄県県民の森は、森林・林業の普及・啓発と森林レクリエーションの場として、昭和61年恩納村安富祖に開設した。総面積181ヘクタールの敷地に遊歩道、森林学習展示館、森林科学館、キャンプ場、冒険広場、スポーツの森等が整備され、多くの県民に親しまれている。

平成28年には、祝日「山の日」の制定や本島北部のやんばる3村（国頭、大宜味、東村）に広がる森林が国立公園に指定されるなど、森林に対する関心の高まりと併せて、森林・林業へのニーズも多様化しており、その対応として、本来の役割を強化しつつ、観光の振興、教育や地域経済にも貢献しうる施設の管理運営が求められている。

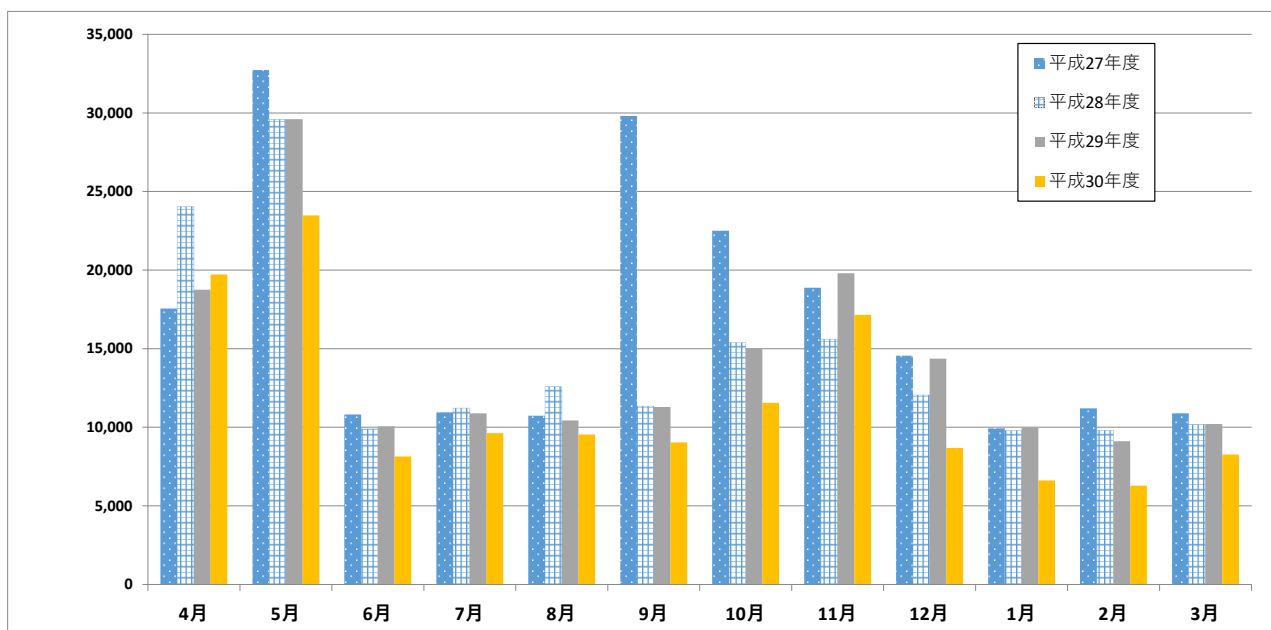
(2) 主な施設

総合案内棟	291 m ²	キャンプ場	23,159 m ²	中央広場	13,400 m ²	冒険広場	18,000 m ²
森林学習展示館	645 m ²	森林科学館	450 m ²	用具貸出棟	117 m ²	遊歩道	3,265 m ²
スポーツの森	10,000 m ²	花木園	14,000 m ²	炊事棟	47 m ²	木炭窯	2 基
パークゴルフ場	7,937 m ²	桜園	6,700 m ²	市町村の森	4,000 m ²	駐車場	4,480 m ²

(3) 県民の森年度別入園者数

年度	平成元年 -平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
入園者数 (人)	2,583,227	204,195	183,070	173,537	167,089	171,804	156,856	169,916	178,480	174,814	200,557	171,460	169,472	138,098

(4) 平成27・28・29・30年度 県民の森月別入園者数



18. 試験研究

18-1 概要

森林資源研究センターは、森林の持つ多面的機能の高度発揮と林業の振興を通じて地域の活性化に寄与するための森林・林業技術及び快適で潤いのある緑地景観の形成に資するための緑化技術を確立する役割を担っている。

このため、平成30年に改正した「沖縄県農林水産試験研究基本構想」に基づき、地域の森林に期待される多面的機能が高度に発揮できるような森林の整備・保全技術の確立に向けた調査研究を推進するとともに、亜熱帯産材の特性を生かした付加価値の高い製品の開発・改良及びきこ類を主体とした特用林産物の生産技術の改善・開発に関する試験研究を推進する。

令和元年度は以下に掲げる試験研究を重点的に実施する。

(1) 公益的機能の高度発揮

森林の持つ公益的機能を高度に発揮することにより、地球温暖化防止等の環境保全や自然災害から県民の生命・財産を守る技術開発を行う。

森林機能研究

- ① 海外防災林の効果向上技術開発

(2) 森林整備技術の高度化

健全な森林の育成、保全を図り、森林の質的内容を高めるため、樹種特性を踏まえた多様な森林整備の技術を開発する。

育林研究

- ① 亜熱帯島嶼域森林環境の変動監視システムによる追跡調査
- ② イジュ優良個体の選抜
- ③ イジュの施肥方法に関する試験
- ④ コンテナ苗植栽による生育特性に関する調査
- ⑤ 森林化困難地域における植栽適木の検討
- ⑥ イジュを主体とする人工林の林分構造の把握
- ⑦ 早生樹を活用した短伐期施業を促進するための研究開発業務

(3) 森林保護管理技術の高度化

松くい虫被害の軽減や突発的に発生する森林病虫害の被害を防止する。

松くい虫防除研究

- ① 松くい虫に強いリュウキュウマツ品種の選抜

天敵生物研究

- ① 県花・県木を天敵生物で守る実用化技術の開発と知的財産の取得
- ② リュウキュウマツを天敵で守る技術開発
- ③ 沖縄発森林天敵に関する生物農薬・特許取得のための研究情報整備事業

害虫防除研究

- ① 緑化木害虫の防除技術開発

樹病研究

- ① 南根腐病防除のための薬剤効果試験

(4) 林産物の生産・加工・利用技術の高度化

県産木材の高付加価値化と利用促進を図るとともに、特用林産物の生産を通じ農林家の所得向上を図る。

木材利用研究

- ① 除湿器を用いたリュウキュウマツの材料保管技術

特用林産研究

- ① 県産きのこの生産安定化技術と品質管理手法の開発
- ② 沖縄県産きのこ生産強化事業
- ③ タンゲブ栽培に関する研究

(5) 緑地景観形成・保全技術の高度化

安らぎや潤いのある緑地景観の保全・形成に資するため、郷土樹種を主体とした緑化木の育苗技術の改善や優良個体の選抜と保護管理技術の確立を図る。

緑化研究

- ① 県花・県木を天敵生物で守る実用化技術の開発と知的財産の取得
- ② 緑化木害虫の防除技術開発

18-2 平成30年度 試験研究・調査等の成果

課 題 名	報告書名
①多面的機能に配慮した海岸防風林の造成技術	研究報告
②リュウキュウマツの遺伝的多様性と進化的位置の解明	研究報告
③DNA解析によるフクギ雌雄判別技術の確立及び有用形質に關与する遺伝的解析	研究報告 研究報告
④リュウキュウマツの改質による高機能化に関する研究	研究報告
⑤沖縄そばマカイに用いるリュウキュウマツのヤニ除去	研究報告
⑥イジュを主体とする人工林の林分構造の把握	研究報告

「研究報告」＝沖縄県森林資源研究センター研究報告

課 題 名	報告書名
①多面的機能に配慮した海岸防風林の造成技術	業務報告
②亜熱帯島嶼域森林環境の変動監視システムによる追跡調査	業務報告
③松くい虫に強いリュウキュウマツ品種の選抜 －伝統的な松並木の保全・再生に向けて－	業務報告
④県花・県木を天敵生物で守る実用化技術の開発と知的財産の取得	業務報告
⑤リュウキュウマツを天敵で守る技術開発	業務報告
⑥沖縄発森林天敵に関する生物農薬・特許取得のための研究情報整備事業	業務報告
⑦緑化木害虫の防除技術開発	業務報告
⑧南根腐病防除のための薬剤効果試験	業務報告
⑨菌床しいたけ用おが粉の樹種特性	業務報告
⑩リュウキュウマツの改質による高機能化に関する研究	業務報告
⑪除湿器を用いたリュウキュウマツの材料保管技術	業務報告
⑫沖縄そばマカイに用いるリュウキュウマツのヤニ除去	業務報告
⑬イジュ優良個体の選抜	業務報告
⑭イジュへの施肥方法に関する試験	業務報告
⑮コンテナ苗植栽による生育特性に関する調査	業務報告
⑯DNA解析によるフクギ雌雄判別技術の確立及び有用形質に關与する遺伝的解析	業務報告
⑰リュウキュウマツの遺伝的多様性と進化的位置の解明	業務報告
⑱松くい虫発生予察事業	業務報告

「業務報告」＝沖縄県森林資源研究センター業務報告

18-3 令和元年度 試験研究課題の概要

部門別	研究課題名	試験研究の概要	期間	担当班	区分
森林の公益的機能	海岸防災林の効果向上技術開発事業	海岸防災林の災害防止機能を向上させるため、海岸防災林の整備・改良技術の開発研究を行う。	R1～R3	企画管理班	国庫
森林整備	亜熱帯島嶼域森林環境の変動監視システムによる追跡調査	森林環境の回復過程に関係する基礎データを継続して収集し、分析を行う。	H29～R3	企画管理班	県単
	イジュ優良個体の選抜	将来的に、森林整備事業に用いる苗木生産への活用を目的とし、通直で成長の良い優れた遺伝的特性を持つイジュの優良個体を選抜する。	H30～R2	育林・林産班	県単
	イジュへの施肥方法に関する試験	肥料の種類、施肥時期及び回数等について試験を行い、効果的な施肥方法を検証する。	H30～R2	育林・林産班	県単
	コンテナ苗植栽による生育特性に関する調査	イジュにおけるコンテナ苗と裸苗の活着及び初期成長の違い、植栽時期によるコンテナ苗の活着と初期成長の違いを明らかにする。また、フクギにおけるコンテナ苗と既存苗の成長や防風効果の違いを明らかにする。	H30～R2	育林・林産班	県単
	森林化困難地域における植栽適木の検討	森林化困難地域において、早期森林化を図るため、樹木の生育に影響する立地環境調査を行い、生育に影響を与える要因を検討し、植栽適木を明らかにする。	R1～R5	育林・林産班	県単
	イジュを主体とする人工林の林分構造の把握	イジュ人工林の生育状況については、35年生程度までの林分のデータしか無	R1～R5	育林・林産班	県単

		く、また、データ数も少ないことから、35年生以上を含めた齢級別のイジュ林の林分状況及びイジュの生長量を明らかにする。			
森林保護 管理	松くい虫に強いリュウキュウマツ品種の選抜～伝統的な松並木の保全・再生に向けて～	地域景観資源であるリュウキュウマツ林を保全・再生していくためにはマツ材線虫病に強いリュウキュウマツで構成された採種園の造成が必要である。そこで、本研究においては、多地域からの抵抗性個体の追加選抜や品種選抜等を行う。	H27～R1	育林・林産班	県単
	県花・県木を天敵生物で守る実用化技術の開発と知的財産の取得	デイゴヒメコバチの天敵カタビロコバチ及び松くい虫の天敵クロサワオオホソカタムシを利用した防除の実用化に向け、沖縄県独自の防除技術を開発する。	H29～R3	育林・林産班	県単
	リュウキュウマツを天敵で守る技術開発	在来天敵の効率的な大量増殖方法の検討を行い、また、天敵卵を野外放飼した結果について検証する。	H29～R1	育林・林産班	国庫
	沖縄発森林天敵に関する生物農薬・特許取得のための研究情報整備事業	デイゴヒメコバチの天敵カタビロコバチ及び松くい虫の天敵クロサワオオホソカタムシの農薬登録及び開発技術の特許取得に必要な研究情報を整備する。	H29～R3	育林・林産班	県単
	緑化木害虫の防除技術開発	デイゴヒメコバチ及び食用性害虫の防除技術を開発する。	H29～R3	育林・林産班	国庫
	南根腐病防除のための薬剤効果試験	南根腐病防除に効果のある農薬の抽出と施用方法を開発する。	H29～R1	企画管理班	県単
林産物の生産・加工・利用	除湿器を用いたリュウキュウマツの材料保管技術	除湿器を用いてリュウキュウマツの青変菌を抑え、かつ割れを防ぐ材料保管技術を検討する。	H30～R1	育林・林産班	県単

県産きのこ生産安定化技術と品質管理手法の開発	県産きのこの非木質資源を活用した栽培方法を検討し、また、異なる栽培方法で発生させた子実体の特性を調査する。	R1～R5	育林・林産班	県単
沖縄県産きのこ生産強化事業	きのこの生産体制の強化と沖縄ブランドの確立に向けて、菌床培地の調査研究及び沖縄在来のきのこの品種選抜を行う。	R1～R3	育林・林産班	国庫
タンゲブ栽培に関する研究	栽培2年目・3年目以降の収量調査、鉢植え及び遮熱ネットを用いた栽培試験を実施し、栽培技術を確立する。	R1～R3	企画管理班	県単

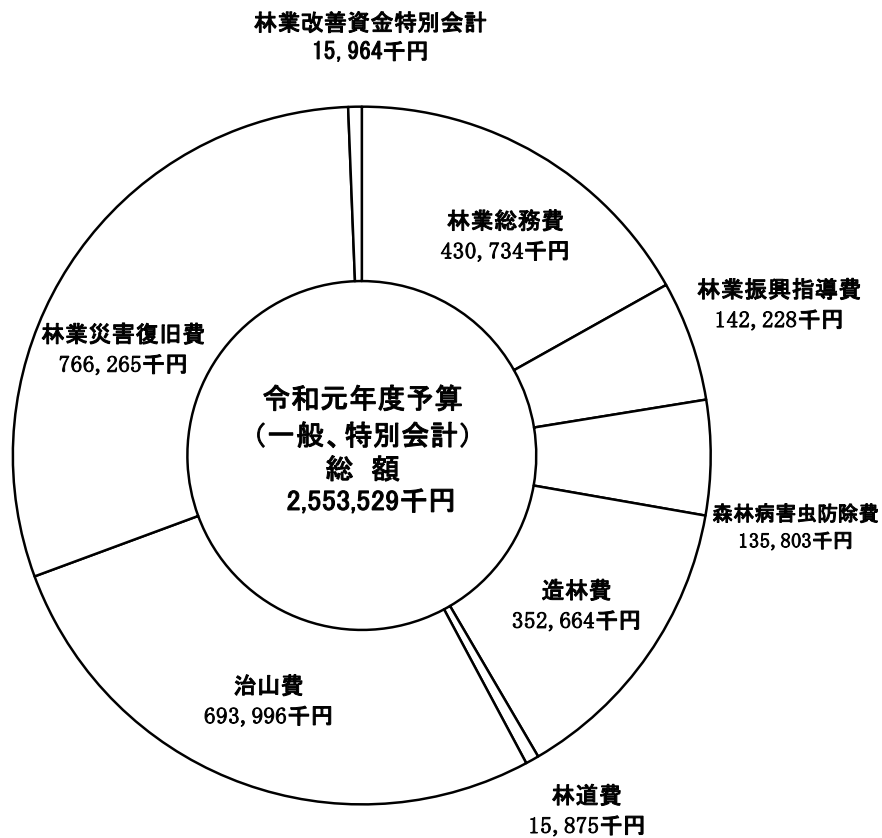
18-4 令和元年度 試験研究関連業務

部門別	関連業務	関連業務の概要	期間	担当班
森林整備	広葉樹（イジュ）人工林の密度管理基準の作成に向けた現地情報及び既存情報収集（林業普及情報活動システム化）	イジュ人工林の現地調査及び既存情報の収集 ・整理を行い、密度管理基準の作成を行う。	単年度	育林・林産班
森林保護 管理	松くい虫発生予察事業	松くい虫防除薬剤散布日の決定に役立てるため、松くい虫被害木の割材調査を行い、マツノマダラカミキリの発育状況と気象条件から成虫の羽化時期を推定する。	毎年度	育林・林産班
	沖縄型森林環境保全事業	松くい虫被害の先端地域の把握のため、枯死木から採取した材片から形態による同定とDNAによる検査を実施し、松くい虫による被害木であるかを判定する。	H29～R1	育林・林産班
林産物の 生産・加工・利用	山菜（ホウビカンジュ）の施肥効果試験（林業技術現地適応化事業）	ホウビカンジュの施肥効果について試験を行い、反収増加及び株の適正管理について検証を行う。	単年度	企画管理班

19. その他

19-1 令和元年度当初予算

<目別予算内訳>



<対前年度比較>

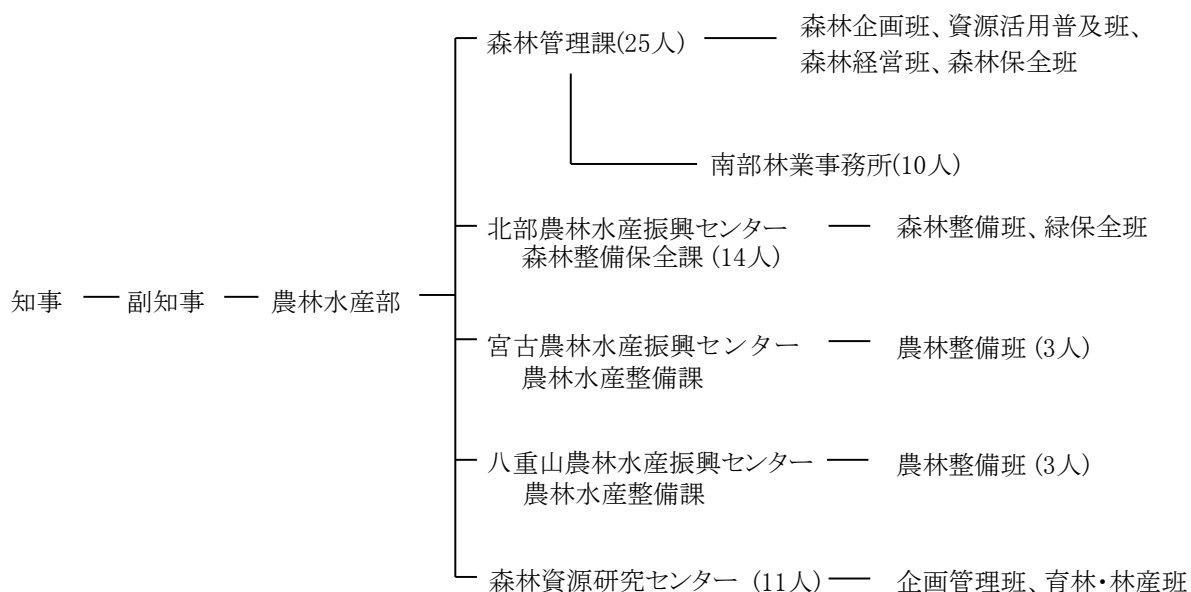
単位:千円

(項) (目)	令和元年度 当初予算額(A)	平成30年度 当初予算額(B)	対前年度比 (A)/(B)
一般会計	2,537,565	2,299,572	110.3%
林業費	1,771,300	1,533,107	115.5%
林業総務費	430,734	422,509	101.9%
林業振興指導費	142,228	129,164	110.1%
森林病虫害防除費	135,803	101,492	133.8%
造林費	352,664	377,216	93.5%
林道費	15,875	28,626	55.5%
治山費	693,996	474,100	146.4%
農林水産施設災害復旧費	766,265	766,465	100.0%
林業災害復旧費	766,265	766,465	100.0%
(林道施設災害復旧費)	(526,096)	(526,096)	100.0%
(治山災害復旧費)	(240,169)	(240,369)	99.9%
林業改善資金特別会計	15,964	15,967	100.0%
合計	2,553,529	2,315,539	110.3%

※林道施設災害復旧費及び治山災害復旧費は事項である。

19-2 林務行政組織図

(令和元年12月現在)



19-3 林務関係職名別内訳表

(令和元年12月現在)

機関名	課長	班長	主幹	主任技師・主査	主任	技師・主事		計
森林管理課	1	4	1	7 (1)	7 (2)	5 (1)		25 (4)
北部農林水産振興センター 森林整備保全課	1	2	1	3 (1)	5 (1)	2		14 (2)
南部林業事務所	1 (所長)	1 (副所長)		2	3 (2)	3		10 (2)
宮古農林水産振興センター 農林水産整備課					1	2		3 (0)
八重山農林水産振興センター 農林水産整備課				1	1	1		3 (0)
計	3	7	2	13 (2)	17 (5)	13 (1)		55 (8)

機関名	所長	班長	研究主幹	主任研究員	研究員・主査	主任技師	農林水産技能員	計
森林資源研究センター	1	2	1	1	4 (1)	1	1	11 (1)

()は事務系職員を内書き

臨時任用職員については、退職者への対応は退職者の職名、欠員への対応は臨任職員の職名で分類

宮古、八重山農林水産振興センターは林務担当職員のみを計上

19-4 森林・林業・緑化関係団体

(令和元年12月現在)

名称	代表者名	郵便番号	所在地	電話・FAX	会員数	事務局職員数	設立年月日
一般団法人 沖縄県森林協会	会 常務理事 宮城 久和 上里 幸秀	901-1105	南風原町字新川135 沖縄みどり会館	電話:098-987-1804 FAX:098-987-1805	159	3	昭和35年10月
公益社団法人 沖縄県緑化推進委員会	会 理事 常務理事 新里 米吉 平良 喜一 生沢 均	901-1105	南風原町字新川135 沖縄みどり会館	電話:098-987-1644 FAX:098-987-1645	239	8	昭和62年11月
一般団法人 沖縄県木材協会	理事 専務理事 長 長堂 昌太郎 事 豊川 善隆	900-0033	那覇市久米2-2-10	電話:098-868-3656 FAX:098-863-6431	43	2	昭和52年2月
沖縄県緑化種苗協同組合	理事 専務理事 長 下地 浩之 事 田中 幸一	903-0118	西原町字小波津357-1	電話:098-946-0840 FAX:098-946-9783	70	6	昭和51年10月
沖縄県森林組合連合会	代表理事 代表理事 長 下地 敏彦 専務 新垣 隆	901-1101	南風原町字大名95-1	電話:098-888-0676 FAX:098-888-0268	4組合	3	昭和55年3月
沖縄北部森林組合	代表理事 常務理事 組合長 渡具知 武豊 事 玉城 政光	905-0006	名護市字茂佐913-2	電話:0980-52-0412 FAX:0980-53-1384	173	4	昭和49年6月
八重山森林組合	代表理事 常務理事 組合長 中山 義隆 事 石垣 宗正	907-0023	石垣市字石垣1396-2	電話:0980-82-4097 FAX:0980-83-8228	274	3	昭和52年5月
国頭村森林組合	代表理事 組合長 大城 盛雄	905-1427	国頭村字与那1258	電話:0980-41-5421 FAX:0980-41-2437	260	6	昭和59年9月
宮古森林組合	代表理事 常務理事 組合長 下地 敏彦 事 佐和田 勝彦	906-0007	宮古島市平良字東仲宗根 968-3	電話:0980-73-8191 FAX:0980-73-8432	173	6	平成7年7月
林業・木材製造業労働災害防止 協会沖縄県支部	支部 事務局 長 長堂 昌太郎 長 豊川 善隆	900-0033	那覇市久米2-2-10	電話:098-868-3656 FAX:098-863-6431	9	3 (木材協会兼務)	昭和50年2月
沖縄県森林土木協議会	会 事務局 長 川平 賀継 長 上里 幸秀	901-1105	南風原町字新川135 沖縄みどり会館	電話:098-987-1804 FAX:098-987-1805	145	2 (森林協会兼務)	平成6年5月

19-5 県の木・花・鳥

区分	和名及び学名	指定措置		説明
		琉球政府時代	復帰に伴う経過措置	
県木	リュウキユウマツ <i>Pinus Luchuensis</i> Mayr	1967年2月7日 告示第27号	1972年10月26日 告示第157号	その名とおり琉球特有のマツで、沖縄の自然を彩る代表的な高木である。木肌はやや黒色で、本土のクロマツとアカマツの中間くらい、針葉は本土のマツに比べて柔らかく細長いのが特徴である。どんな土質にも比較的よく育ち、20～30年で木材として収穫できるため、本県の重要な造林樹種である。家具材や土木資材として利用され、また街路樹や防風林としても古くから植栽されている。琉歌にもよく歌われ、年を経るにしたがって風格のある樹形になる。
県花	デイゴ <i>Erythrina variegata</i> var. <i>orientalis</i> Merr	1967年2月7日 告示第27号	1972年10月26日 告示第157号	マメ科の落葉高木で、インドから太平洋諸島の海岸近くに分布し(インド原産)、沖縄は北限地である。材は非常に柔らかく、軽くて乾燥しても裂け目を生じないため、漆器の材料として用いられ、経済的価値が高い花木である。花は4～5月頃に咲き、深紅の情熱的な花は美しく、南国沖縄の初夏を彩る代表的な風物詩である。縄の初夏を容易に増殖できるため、街路や公園などの風致木として広く植栽されている。
県鳥	ノグチゲラ <i>Sapheopipo noguchii</i>	1967年5月9日 告示第156号	1972年10月26日 告示第157号	沖縄本島北部の原生林地帯に生息する世界的にも珍しい一属一種のキツツキ科の鳥である。イタジイなどの広葉樹の大木に巣穴をつくり、カミキリムシやセミの幼虫、クモ、木の実などをエサとします。雄と幼鳥の頭頂は赤く、全身鮮やかな茶褐色で、嘴は鉛色で全長30cmほどである。足指が前後に2本ずつあり、尾で支え、木にしがみつくように止まる。1887年に新種として発表され、1955年(昭和30年)に琉球政府によって天然記念物に指定されていたが、復帰とともに国の天然記念物に指定された。

19-6 市町村の木・花・花木の指定状況

(平成30年12月現在)

	市町村名	木	花	花 木	制定年月日
1	国 頭 村	イタジイ	サクラツツジ	イジュ	S57.12.15
2	大 宜 味 村	シークワサー	シークワサー		S62.8.1
3	東 村	ヒルギ	ツツジ		S53.4.1(花)
4	今 帰 仁 村	リュウキュウマツ	ハイビスカス		S60.3.13
5	本 部 町	フクギ	ラン	サクラ	S62.12.10
6	名 護 市	ガジュマル	テッポウユリ	ヒカンザクラ	S48.8.1
7	恩 納 村	フクギ	オオハマボウ(ユウナ)		S48.5.15
8	宜 野 座 村	リュウキュウマツ	ツツジ		S57.7.29
9	金 武 町	クバ	サクラ		S52.11.21(木)、S53.1.6(花)
10	伊 江 村	ガジュマル	テッポウユリ	サルスベリ	S60.2.5
11	伊 平 屋 村	クバ	ツツジ(トウサツキ)		H1.8.7
12	伊 是 名 村	ウバメガシ	トウサツキ		H1.3.22
13	う る ま 市	リュウキュウコクタン	サンダンカ	ユウナ	H18.12.18
14	沖 縄 市	ビロー	ハイビスカス	クロトン	S49.10.26
15	読 谷 村	フクギ	ブーゲンビレア	イペー	S61.4.5
16	嘉 手 納 町	クロキ	ハイビスカス		S57.8.5
17	北 谷 町	センダン	フイリンシンカ		S57.4.1
18	北 中 城 村	リュウキュウコクタン	ラン	ブーゲンビレア	S61.5.20
19	中 城 村	リュウキュウコクタン	ハイビスカス		S60.4.23
20	宜 野 湾 市	リュウキュウコクタン	キク	サンダンカ	S50.12.9
21	西 原 町	ガジュマル	ブーゲンビレア	サワフジ	S55.3.2
22	浦 添 市	ホルトノキ	オオバナアリアケカズラ	オオゴチョウ	S49.12.4
23	那 覇 市	フクギ	ブーゲンビレア	ホウオウボク	S58.10.1
24	豊 見 城 市	リュウキュウコクタン	ブーゲンビレア		S56.11.1
25	糸 満 市	ガジュマル	ニチニチソウ	ブーゲンビレア	S56.11.27
26	八 重 瀬 町	リュウキュウコクタン	マリーゴールド	ヒカンザクラ	H19.9.5
27	南 城 市	リュウキュウコクタン	ハイビスカス	クチナシ	H19.3.1
28	与 那 原 町	リュウキュウコクタン	ハイビスカス	デイゴ	S60.2.4
29	南 風 原 町	リュウキュウコクタン	ブーゲンビレア		S57.12.25
30	久 米 島 町	リュウキュウマツ、フクギ	クメジマツツジ	ツバキ(久米紅)	H14.4.1
31	渡 嘉 敷 村	クバ	ケラマツツジ		H3.7.30
32	座 間 味 村	リュウキュウマツ	ケラマツツジ		H6.3.11
33	粟 国 村	フクギ	テッポウユリ	ソテツ	H11.6.14
34	渡 名 喜 村	フクギ	カワラナデシコ		H4.7.1
35	南 大 東 村	ダイトウビロウ	ハイビスカス		S61.6.12
36	北 大 東 村	ダイトウビロウ	ハマユウ		S61.6.12
37	宮 古 島 市	ガジュマル	ブーゲンビレア	デイゴ	H18.4.5
38	多 良 間 村	フクギ	タラマバナ(ベニバナ)	センダン	H5.3.26
39	石 垣 市	ヤエヤマコクタン	サキシマツツジ		S52.10.22
40	竹 富 町	イヌマキ	ゲットウ		S53.6.13
41	与 那 国 町	クバ	テッポウユリ	サルスベリ	S62.4.1

※リュウキュウコクタンとヤエヤマコクタンとクロキ、クバとビローは同一樹種であるが、この表では市町村の指定名を記載している。

20. 資料

20-1 土地利用状況

市町村	区分	人口	面積	森				林				面積	人口	耕地	その他	森林率
				総数	林野庁所管 国有林	民有林面積		合計	市町村有	私有	面積					
						県有	市町村有									
	県計	1,471,536	228,107	106,913	32,122	74,791	5,618	40,611	28,562	74,791	5,618	40,611	28,562	37,979	83,215	47
北部	地域	131,279	82,550	52,780	7,533	45,247	5,216	22,154	17,878	45,247	5,216	22,154	17,878	7,336	22,434	64
名護	市	62,840	21,090	13,755	-	13,755	1,401	6,248	6,106	13,755	1,401	6,248	6,106	1,480	5,855	65
国頭	村	4,871	19,480	16,441	3,957	12,484	3,352	5,562	3,570	12,484	3,352	5,562	3,570	616	2,423	85
大宜味	村	3,127	6,355	4,841	-	4,841	10	2,247	2,585	4,841	10	2,247	2,585	292	1,222	76
東	村	1,804	8,188	6,056	3,545	2,511	403	1,045	1,063	2,511	403	1,045	1,063	423	1,709	74
今帰仁	村	9,494	3,993	1,359	-	1,359	8	406	945	1,359	8	406	945	849	1,785	34
本部	町	13,348	5,435	2,090	-	2,090	15	299	1,776	2,090	15	299	1,776	602	2,743	38
恩納	村	10,937	5,083	2,934	-	2,934	1	1,883	1,051	2,934	1	1,883	1,051	342	1,807	58
宜野座	村	5,999	3,130	1,552	-	1,552	0	1,421	132	1,552	0	1,421	132	473	1,105	50
金武	町	11,524	3,793	2,021	-	2,021	0	1,602	418	2,021	0	1,602	418	295	1,477	54
伊江	村	4,596	2,278	144	24	119	0	37	82	119	0	37	82	1,090	1,044	5
伊平屋	村	1,258	2,182	1,217	7	1,210	24	1,083	103	1,210	24	1,083	103	333	632	56
伊是名	村	1,481	1,543	370	-	370	1	323	47	370	1	323	47	541	632	24
中南部	地域	1,229,275	63,679	13,204	2	13,202	203	7,043	5,956	13,202	203	7,043	5,956	11,099	39,376	21
那覇	市	323,290	3,999	20	-	20	0	6	14	20	0	6	14	5	3,974	0
豊見城	市	63,980	1,919	120	-	120	0	10	109	120	0	10	109	282	1,517	6
うるま	市	123,234	8,711	1,462	-	1,462	25	282	1,155	1,462	25	282	1,155	1,010	6,239	17
沖縄	市	141,775	4,972	852	-	852	42	440	370	852	42	440	370	114	4,006	17
宜野湾	市	98,377	1,980	85	-	85	0	1	84	85	0	1	84	42	1,853	4
浦添	市	114,372	1,948	73	-	73	12	2	59	73	12	2	59	6	1,869	4
糸満	市	61,398	4,663	444	-	444	16	115	313	444	16	115	313	1,540	2,679	10
南城	市	43,669	4,994	917	0	916	9	31	876	916	9	31	876	1,360	2,717	18
読谷	村	41,444	3,528	862	-	862	23	326	514	862	23	326	514	762	1,904	24

(単位 人口:人 面積:ha 率:%)

市町村 区分	人口	面積	森				林				面積			耕地	その他	森林率
			総 数	林野庁所管 国有林	合 計	民有林面積			合 計	市町村有	私 有					
						県 有	市町村有	私 有								
嘉手納町	13,755	1,512	259	-	259	0	19	240	39	1,214	17					
北谷町	29,253	1,393	83	-	83	1	4	79	8	1,302	6					
北中城村	17,110	1,154	199	-	199	14	1	184	71	884	17					
中城原町	20,755	1,553	275	-	275	3	1	270	280	998	18					
西原町	35,194	1,590	124	-	124	3	4	117	142	1,324	8					
八重瀬町	30,949	2,696	181	-	181	1	24	156	970	1,545	7					
与那原町	19,587	518	68	-	68	2	2	64	37	413	13					
南風原町	38,580	1,076	62	-	62	3	8	51	178	836	6					
久米島町	7,994	6,365	2,360	-	2,360	1	2,032	326	1,710	2,295	37					
渡嘉敷村	701	1,923	1,721	2	1,719	0	1,407	311	15	187	89					
座間味村	923	1,674	1,337	-	1,337	1	1,061	275	8	329	80					
栗国村	709	765	246	-	246	10	33	204	126	393	32					
渡名喜村	378	387	242	-	242	0	97	145	22	123	63					
北大東村	572	1,307	378	-	378	8	358	12	542	387	29					
南大東村	1,276	3,052	834	-	834	28	778	28	1,830	388	27					
宮古八重山地域	110,982	81,878	40,928	24,586	16,342	199	11,414	4,728	19,544	21,406	50					
宮古島市	54,442	20,427	3,384	-	3,384	74	1,836	1,474	10,700	6,343	16					
石垣市	49,392	22,915	8,963	-	8,963	102	7,693	1,169	5,290	8,662	39					
多良間村	1,169	2,200	671	-	671	22	51	598	983	546	30					
竹富町	4,270	33,440	26,817	24,586	2,231	1	904	1,326	2,060	4,563	80					
与那国町	1,709	2,896	1,092	-	1,092	1	930	161	511	1,293	38					

注) 1. 人口は、沖縄県市町村概要(平成31年3月)による。

2. 面積は、沖縄県市町村概要(平成31年3月)による。

なお、那覇市及び豊見城市並びにうるま市及び金武町の境界未定分は、普通交付税の算定に用いる市町村面積の協定書による。

3. 森林面積は平成31年4月1日現在有効の地域森林計画の数値である。

4. 国有林は、平成31年4月1日現在有効の国有林の地域別森林計画による。

5. 耕地は、沖縄県市町村概要(平成31年3月)による。

6. 区分のうち、その他面積は、市町村面積から森林面積と耕地面積の合計を差し引いた値とした。

7. 合計と内訳の計が一致しないのは、四捨五入によるものである。

20-2 齡級別森林資源構成表

單位：面積：ha 材種：立木：千m³ 立竹：千束 成長量：千m³

區分	總數		1 齡級		2 齡級		3 齡級		4 齡級		5 齡級		6 齡級		7 齡級										
	面積	材種	成長量	材種	成長量	材種	成長量	材種	成長量	材種	成長量	材種	成長量	材種	成長量	材種	成長量								
總數	74,791	9,877	53	106	88	0	456	3	1	205	27	2	181	21	1	383	68	3	803	108	3	1,438	280	7	
總數	65,484	9,695	53	91	88	0	173	3	1	205	27	2	181	21	1	376	67	3	801	108	3	1,433	279	7	
針葉樹	17,431	2,811	21	16	68	0	26	1	0	18	3	0	19	2	0	58	9	0	112	12	0	225	60	1	
広葉樹	48,050	6,884	32	76	21	0	147	2	0	187	24	2	162	19	1	318	58	3	689	96	3	1,208	220	6	
總數	10,309	1,905	23	76	88	0	164	3	1	163	18	2	125	6	0	157	14	1	286	21	1	610	109	2	
針葉樹	6,301	1,347	16	15	68	0	20	1	0	16	2	0	16	1	0	53	8	0	68	7	0	161	50	1	
広葉樹	4,008	558	7	60	21	0	144	2	0	147	16	1	108	5	0	103	7	0	218	14	0	449	59	1	
總數	9,397	1,616	20	44	3	0	152	0	0	158	18	2	111	5	0	140	13	1	253	14	0	557	67	1	
層	5,732	1,182	15	4	0	0	16	0	0	16	2	0	14	1	0	46	7	0	56	5	0	141	27	1	
針葉樹	3,665	434	5	40	2	0	137	0	0	142	16	1	97	4	0	94	6	0	198	9	0	417	40	1	
總數	912	289	4	31	86	0	12	3	0	5	0	0	13	1	0	16	1	0	33	7	0	52	42	1	
層	569	165	2	11	67	0	5	1	0	0	0	0	2	0	0	8	1	0	13	3	0	20	23	0	
針葉樹	343	124	2	20	18	0	7	2	0	5	0	0	11	1	0	9	0	0	20	4	0	32	18	1	
總數	55,175	7,790	29	16	0	0	8	0	0	41	9	1	56	15	1	219	53	2	515	87	3	823	171	5	
針葉樹	11,131	1,463	4	1	0	0	6	0	0	1	0	0	3	1	0	5	2	0	44	5	0	64	10	0	
広葉樹	44,043	6,327	25	15	0	0	3	0	0	40	8	1	54	14	1	214	51	2	471	82	3	759	161	5	
總數	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
針葉樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広葉樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
總數	7,363	1,179	4	7	0	0	0	0	0	5	2	0	1	1	0	55	17	1	12	4	0	94	19	1	
層	399	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
針葉樹	6,964	1,122	4	7	0	0	0	0	0	5	2	0	1	0	0	54	17	1	11	4	0	94	19	1	
広葉樹	47,811	6,610	26	9	0	0	8	0	0	36	7	1	55	15	1	164	36	2	503	83	3	729	152	4	
總數	10,732	1,406	4	1	0	0	6	0	0	1	0	0	2	0	0	5	1	0	43	5	0	63	10	0	
針葉樹	37,079	5,204	21	9	0	0	3	0	0	35	7	1	53	14	1	160	34	1	460	78	3	665	142	4	
広葉樹	184	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
總數	3,619	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
層	3,950	182	0	14	0	0	283	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	3	0	0	5	1	0	
針葉樹	1,576	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 單位未滿四捨五入のため、總數と内訳は必ずしも一致しない。

単位 面積:ha 材種:立木:千m³ 立竹:千束 成長量:千m³

区分	8 齡 級		9 齡 級		1 0 齡 級		1 1 齡 級		1 2 齡 級		1 3 齡 級		1 4 齡 級		1 5 齡 級 以上						
	材種	成長量	面積	材種	成長量	面積	材種	成長量	面積	材種	成長量	面積	材種	成長量	面積	材種	成長量				
総	数	2,314	338	2,070	294	4	5,169	1,347	6	13,792	1,917	6	17,765	2,503	5	8,069	1,121	2	6,747	1,106	1
	総数	2,285	337	1,993	290	4	4,808	1,307	6	13,269	1,883	6	16,991	2,438	5	7,913	1,109	1	6,683	1,098	1
人	総数	550	69	795	132	2	1,901	269	3	2,988	537	5	4,362	700	4	4,537	182	1	641	114	0
	材種	1,736	267	1,198	158	2	2,907	374	2	8,907	1,183	2	12,454	1,781	3	6,705	927	1	6,042	984	0
立	総数	813	109	919	156	2	1,811	256	3	1,423	331	3	1,150	254	2	399	83	1	352	74	0
	材種	396	43	573	101	2	1,321	190	3	1,356	308	4	949	185	2	300	70	1	234	58	0
工	総数	416	67	346	55	1	490	67	0	474	72	0	308	69	0	99	13	0	117	15	0
	材種	722	74	859	149	2	1,623	235	3	1,717	313	3	1,107	227	2	345	75	1	325	60	0
林	総数	332	38	525	97	2	1,178	173	3	871	249	3	819	181	2	262	64	1	223	48	0
	材種	390	36	333	53	1	445	62	0	407	64	0	288	46	0	83	11	0	102	12	0
木	総数	91	36	60	7	0	188	22	0	145	19	0	43	27	0	54	8	0	27	13	0
	材種	65	5	48	5	0	143	17	0	78	10	0	23	3	0	38	6	0	11	10	0
地	総数	26	31	12	2	0	46	4	0	67	9	0	20	23	0	16	2	0	16	3	0
	材種	1,473	227	1,074	134	1	2,997	386	2	11,846	1,551	3	15,841	2,184	4	7,514	1,026	1	6,332	1,024	0
天	総数	153	27	221	31	0	581	79	0	3,413	441	1	3,694	472	1	908	112	0	406	56	0
	材種	1,320	201	852	103	1	4,787	693	1	8,434	1,110	2	12,147	1,712	3	6,606	914	1	5,925	969	0
地	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
然	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
育	総数	115	19	103	16	0	668	120	0	1,295	190	0	2,217	351	1	1,243	191	0	1,271	219	0
	材種	13	4	0	19	3	33	4	0	87	13	0	103	14	0	67	9	0	35	5	0
成	総数	102	15	84	13	0	628	115	0	1,208	177	0	2,114	337	1	1,176	182	0	1,236	213	0
	材種	1,358	209	971	118	1	2,721	355	2	10,551	1,362	3	13,624	1,833	3	6,271	835	1	5,061	805	0
林	総数	141	23	203	28	0	548	75	0	3,325	429	1	3,591	459	1	841	102	0	372	50	0
	材種	1,217	186	768	90	1	2,172	280	1	7,226	933	2	10,033	1,374	2	5,430	732	1	4,689	755	0
竹	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更	総数	29	1	0	78	4	0	361	17	0	522	34	0	773	65	0	156	12	0	64	8
	材種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キ	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 単位未満四捨五入のため、総数と内訳は必ずしも一致しない。

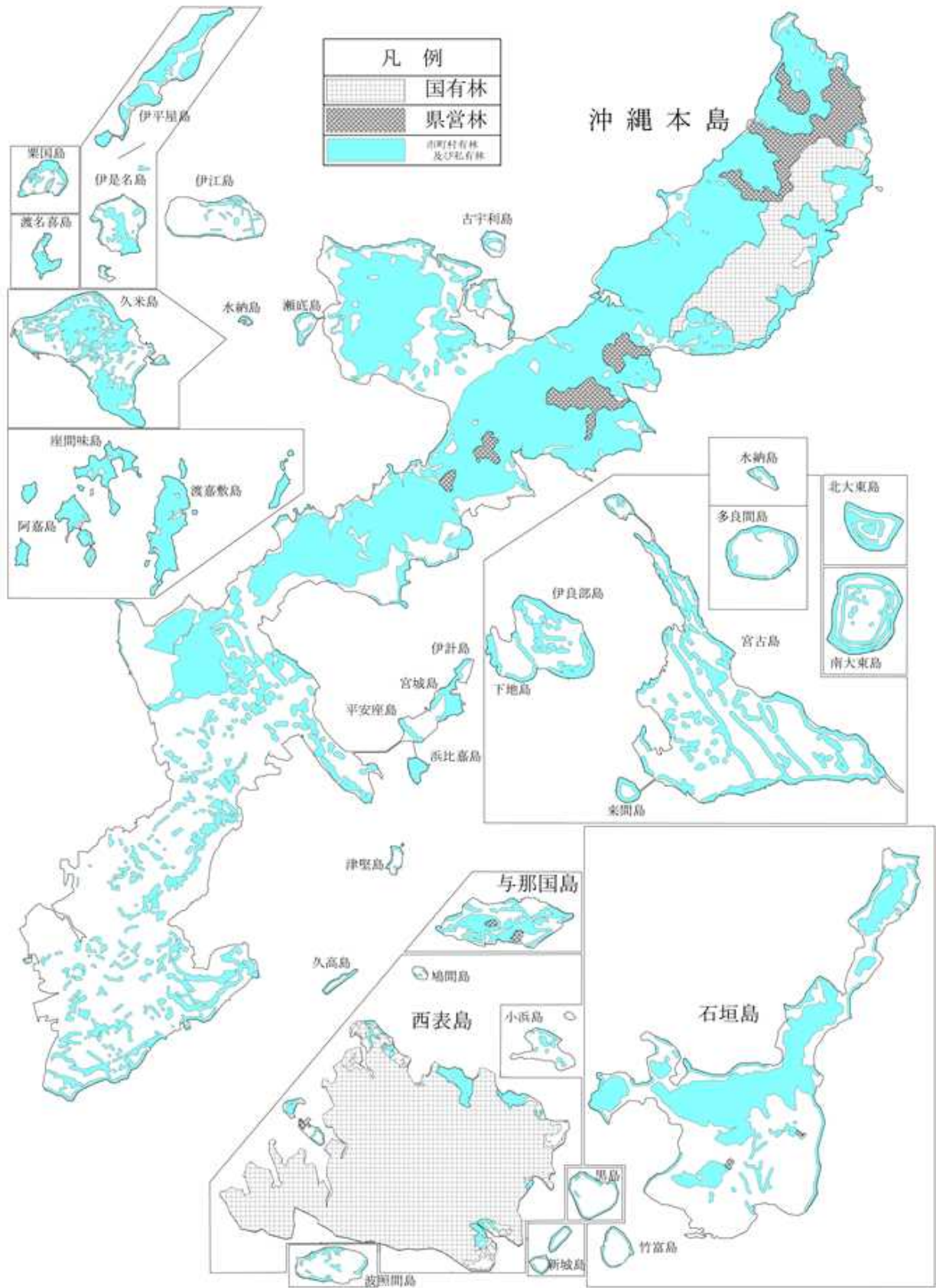
20-3 所有形態別森林資源表

(単位 面積:ha 材積:立木1,000m³、立竹1,000束)

区分	総数	立木										竹			更新 困難地	ギン ・ヤシ等
		合計		人工林		天然林		計	伐採跡地	未立木他	計	材積				
		針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹									
総数	74,791	65,483	17,432	48,051	10,309	6,301	4,008	55,174	11,131	44,043	184	3,619	42	3,577	3,930	1,576
材積	9,877	9,695	2,811	6,884	1,905	1,347	558	7,790	1,463	6,327	—	—	—	—	182	—
公有	5,618	5,319	1,482	3,837	1,716	1,220	496	3,604	262	3,342	1	153	1	152	110	36
市町村有	923	915	287	628	317	242	74	598	45	553	—	—	—	—	8	—
面積	40,611	36,264	8,800	27,463	6,057	3,688	2,368	30,207	5,112	25,095	158	1,804	28	1,776	1,828	558
材積	5,887	5,815	1,576	4,239	1,237	881	355	4,578	694	3,884	—	—	—	—	72	—
面積	28,562	23,900	7,149	16,751	2,537	1,392	1,145	21,363	5,757	15,606	26	1,662	13	1,649	1,992	982
材積	3,068	2,965	948	2,018	352	224	128	2,614	724	1,890	—	—	—	—	102	—

注) 1. 単位未満四捨五入のため、総数と内訳は必ずしも一致しない。

20-4 森林分布概況図



沖縄の森林・林業（令和元年版）

令和2年1月

発行 沖縄県農林水産部森林管理課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

tel 098-866-2295 fax 098-868-0700

本冊子に使用した紙（表紙は除く）は、30%の間伐材（九州産）が配合されており、地球温暖化の防止、林業・山村の活性化に貢献しています。商品名『木になる紙』。